

課長	課長補佐	係長	記録

【所属名：文化振興課】

【会議名：第1回糸魚川市文化財保護審議会】

■開示

一部開示（理由：条例第 条第 号該当）

不開示

時限不開示（開示： 年 月 日）

## 会 議 録

作成日 令和3年5月14日

日	令和3年5月14日	時間	9:00 ~ 10:55	場所	市役所庁舎 201・202 会議室
内 容	(公開) 1 あいさつ 2 協 議 (1) 正・副会長の選任について 3 報 告 (1) 糸魚川市文化財保存活用地域計画について (2) 谷根川の大釜とポットホール群について (3) その他 4 現地視察 (1) 谷根川の大釜とポットホール群 (2) 山口家				
出 席 者	<b>【出席者】</b> 6人 吉田委員、井伊委員、小掠委員、倉又委員、小林委員、室川委員 <b>【欠席者】</b> 3人 池亀委員、佐藤委員、吉倉委員 <b>【事務局】</b> 7人 井川教育長 文化振興課 伊藤課長、伊藤課長補佐、山岸学芸専門員、猪又主査、 小池主任主事（学芸員）、小河原主任主事（学芸員）				
	傍聴者定員	-人	傍聴者数	0人	

### 会議要旨

(進行：伊藤課長)	
1	あいさつ (9:00) 井川教育長
2	協 議 (1) 正・副会長の選任について <b>【事務局】</b> 糸魚川市文化財保護審議会規則第5条の規定により、委員の互選で定める。 ⇒ <u>会長：吉田委員、副会長：井伊委員</u> が選任された。
3	報 告 ※議事進行については吉田会長が議長となる。 (1) 糸魚川市文化財保存活用地域計画について

【事務局】別紙資料により、文化財保存活用計画の概要や策定委員会の設置、計画の策定スケジュール等を説明。

【委員】当審議会と策定委員会との関係はどのようなものか。

【事務局】策定委員会の構成員として、当審議会の委員からも入っていただく。審議会開催の際に計画策定の進捗状況等を報告する。

## (2) 谷根川の大釜とポットホール群について

【事務局】別紙資料により、甌穴（おうけつ）の出来方や「谷根川の大釜」の特徴等を説明。

【委員】谷根川の大釜に関して、新たな論文は発表されるのか。

【事務局】山形大の教授や、元・当市学芸員の宮島さんが作成中と聞いている。

【委員】谷根石の特徴はどのようなものか。

【事務局】凝灰岩の一種で、表面はゴツゴツしており、庭石などによく使われる。

【委員】谷根川の大釜は、地元の方には昔から知られていたのか。

【事務局】地元では昔から知られていたと思われる。谷根出身の渡辺保さん（元・新潟経営大学学長）が幼少期から知っており、昨年改めて調査し特徴的な甌穴であることがわかった。

【委員】大釜の中に人が入ることができるとのことだが、安全性はどうか。

【事務局】谷根川の流れからは離れており通常は水が流入しないため、浸食は進行しにくい状況。

【委員】谷根川の大釜の今後の方向性について、どう考えているか。

【事務局】具体的には検討中だが、地域観光資源活性化研究会からの要望もあり、文化財に指定しジオパークと連携するのも一つの手段であると考えている。

項目では「谷根川の大釜とポットホール群」と記載したが、ポットホール群は大小様々なものが多数あり管理が難しいため、大釜に絞って検討すべきと考えている。

## (3) その他

【事務局】・白山神社本殿屋根修繕について

文化庁の補助金が活用できる。9月採択を目指す。

・伊藤家住宅外壁修繕について

被害額が少なく、文化庁の補助金には該当しない。文化庁に相談し、毀損届は提出したが、現状変更届は不要とのこと。

## 4 現地視察（視察の様子は別紙参照）

(1) 谷根川の大釜とポットホール群

(2) 山口家住宅

閉 会（10:55）